

2026年5月10日(日)集会へ

講演「ドラマでたどる韓国社会 ～家族制度とフェミニズム～」

山下 英愛さん(文教大学教授)



韓国ドラマに魅せられた方はたくさんいるのではないでしょうか。

宮廷女官チャングムの誓いや善徳女王、トンイなどの時代劇や

冬のソナタや黄色いハンカチ、がんばれ！クムスンなどの現代劇等。

講師の山下英愛さんは著書「女たちの韓流」の中で、「韓国ドラマには人生の哀歎が込められている。朝鮮半島の歴史と文化、人々の息吹が溶け込んでいる。」と述べています。

ドラマをとおして、戸主制度の『姓不变の原則』に苦しんだ女性たちや、ドラマが戸主制度廃止の機運を盛り上げることに貢献、新しい個人登録制度のことなども描かれています。差別と蔑みの対象だった非婚の母と婚外子。上記制度の改革によって、積極的に婚外子を育てる非婚の母が登場しているとのこと。最近ではどのような現実が反映しているのか、お話を聞きするのがとっても楽しみです。

資料代 500 円

日 時 2026年 5月 10 日(日)

午後 1 時 30 分 開始 午後 4 時半 終了

会 場 東京ウイメンズプラザ・視聴覚室(1F)

- 地下鉄表参道駅B 2出口から徒歩 7分
- 渋谷駅から宮益坂口から徒歩 12分
- 都バス (渋88系統) 渋谷駅から2つ目 (4分) 青山学院前バス停から徒歩 2分

主催 なくそう戸籍と婚外子差別・交流会

E-mail kouryu2-kai@ac.auone-net.jp

電話 & FAX 0422-90-3698 (留守電対応)

<山下英愛さん紹介>

1959年生まれ。在日朝鮮人の父と日本人の母との間に生まれる。

多摩美術大学(絵画科)、津田塾大学(国際関係学科)卒業。

1996年梨花女子大学大学院女性学科博士課程修了。

博士(国際関係学/立命館大学)。

専門は女性学、韓国文化論。

韓国留学中、挺対協(韓国挺身隊問題対策協議会)で活動。

2000年代末から韓国ドラマに関する研究を行ってきた。

最近は北朝鮮(DPRK)のジェンダーに関心をもって研究会活動を行っている。

現在、文教大学文学部教授。

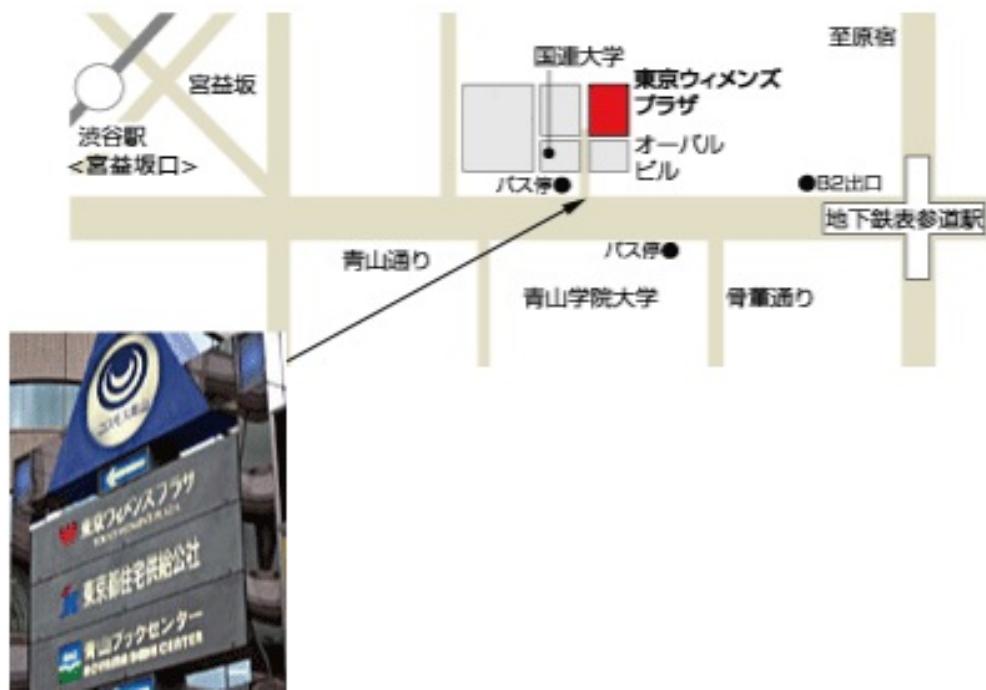
<著書>

『ナショナリズムの狭間から~「慰安婦」問題をみるもう一つの視座』(明石書店、2008)

『女たちの韓流~韓国ドラマを読み解く』(岩波新書、2013)

『新版 ナショナリズムの狭間から~「慰安婦」問題とフェミニズムの課題』(岩波現代文庫、2022)

<会場案内図>



青山通り（国道 246 号線）オーバルビルの前にあるこの看板が目印です。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67